

学習発表会が成功裏に終わりました！ 次なる高みを目指して歩き出した子どもたち！

11月…宿泊学習、もちつき大会、マリア校交流…！ 子どもたちは一生懸命です！



■■充実した気持ちで、全校で発表会の後片付け！■■

10月29日(土)の学習発表会では、多くの観客の方々からお褒めの言葉をいただき、子どもたちは頑張った達成感や充実感を感じていました。そんな気持ちで、次の週の初めての登校日である11月3日(木)にみんなで学習発表会の後片付けをしました。

■■明日は今日よりもっといい教師でありたい！■■

そう思って、本校では教職員研修に取り組んでいます。授業研究や研修会を計画的に行っています。去る10月19日(水)には今年3回目の授業研究会を行い、授業の進め方について協議しました。今後も自己研修、校内研修をもっともっと続けていきます。



■■■全校学活「近づく！宿泊学習！」(事前指導)■■■

子どもたちが一番に楽しみにしている行事、宿泊学習が10日(木)～11日(金)に迫ってきました。11月3日(木)と4日の両日に宿泊学習の事前指導、事前学習を行いました。



■■■全校学活「創立41周年を祝う全校集会」■■■

11月4日(金)5校時に11月1日に41回目の創立記念日を迎えたカラカス日本人学校の「創立41周年を祝う全校集会」を開催しました。校歌斉唱後、玄関ホールの沿革史年表の前で学校の歴史をクイズを交えて楽しく学び、最後には学校の41年間の歴史を写真(スライドショー)で振り返りました。



カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その136)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 31

カラカス日本人学校創立当時の話や写真は、残念ながらほとんど残っていません。ただ、前回紹介しました橋本貞夫先生が、「ヴェネズエラ日系人会 70年の歩み 1928～1998」に書かれている文章が残されています。

■バージェ・フレスコ時代…(橋本貞夫)■ 昭和50年10月にカラカス日本人学校が創立されると、補習校は発展的解消となるのですが、補習校の父母と日本人会から土曜日の授業は存続させて欲しいとの要望が出されました。結果的には補習校が蓄積してきた備品、教具、図書類は日本人学校に移管し、土曜の授業は日本人学校の教室で継続することになりました。カラカス日本人学校はカラカス市からサンタ・リシーヤに通じる街道バージェ・フレスコ(「涼しい谷」「爽やかな谷」という意味でしょうか)に設立されました。ここは以前クラブハウスで、その建物を一部修復して教室として使うことになりました。バージェ・フレスコは海拔1200m、カラカス市内から車で1時間余りかかる所です。自生のレモンやオレンジ、野生の紫バナナ、コーヒーの木などを自由に手にすることが出来るほど、自然環境は申し分ありませんでした。手製の捕虫網を置いておくと、児童生徒が蝶を捕ってきて、いつしか蝶の標本が出来上がるほどでした。中高学年生徒にはスケッチさせた動植物手製図鑑を各自で作成させました。毒蛇(30cmぐらいのコラルールという)にも度々出会いました。「ドンデ・アイ・カミーノ・ノーアイ・クレブラ」と言われ、「道のあるところには蛇は出ない」とのことで、学校の道路は絶えずきれいに掃除し、児童生徒には草むらに入らないよう徹底させました。天井からサソリが落ちてこないよう発泡スチロールを天井に貼りました。コメディアンのかかりや長介氏が日本人学校を訪問したとき、一番関心を持ったのが理科室の標本でした。蛇やサソリについてたくさんの質問が飛び出しました。(この訪問についてはこのコラムで紹介しました)バージェ・フレスコに移ってからの私どもの心配は、「万一蛇にかまれたり、サソリにさされた時にどう処置するかということでした。」つづく